

平成 29 年（2017 年）12 月 18 日

作成 柏谷

## 第 45 回文化祭 第 5 回実行委員会 議事録

日時：12 月 2 日（土）午前 11 時～12 時

場所：千二地区公民館大会議室

出席：公民館企画運営委員（欠席:川内）、雑部連合自治会長、吉田人権協千二地区委員長、公民館（館長、事務員）

### 報告事項

館長より次第に沿って実施報告がなされました。

### 各委員の意見

以下のような意見が出されました。

氏平：出演者への記念品、数のあっていないものがあった。

→委員長：来年度は数の確認を徹底する。

雑部：地域からの特定の個人のマンパワーに頼りすぎの傾向。（警備は防犯、演芸進行は青対に丸投げなど。）

地域の行事でもあるが運営の主体は企画運営委員会で各部署の責任者は企画運営委員であるべき。

事務員、館長に仕事が集中していたが各委員が分担すべき。

島田：オール千二体制で手伝いは各団体の協力を受けるが、本来は企画運営委員が責任者であるべき。

永松：（雑部さんの意見は）全体の印象としては分かるが具体的に何が問題なのか指摘されないと解決のしようがない。

柏谷：従来通りの実施ということで実務はすべて館長と事務員で行ったがとてもしんどい。実務の分担をお願いしたい。たとえば会計なら通帳を預けたい。

氏平：そういうものだと思っていた。委員としてやるべきことが見えていないのでこういう仕事がある、と示してもらいたい。そうすればやる。

山本：どの仕事をだれが担当するか明示した組織図があれば解決すること。

→委員長： 具体的に問題点を列挙して来年度はそれを分担するようにしましょう。

宇野： 文化祭のときだけ雑用係のように使われてしんどい。権限のない労働者。委員会が普段から言われたことだけをする権限のない存在になってきている感がある。

→雑部： 地域も含め皆同じ立場なのだから委員一人一人が主体的に動いてほしい。

→委員長： 決められたことなら責任を持ってやれるので来年はそうしていこう。そのために組織としての体制を整える必要がある。また、分担するとはいえ、各分担ゼロベースで考えないと実行は難しい。会計など全部任せると事務に支障をきたす。実際には無理では。

→吉田： 昔の話だが私たちのころは各責任者がすべて実務をやっていた。会計も担当者が監査を受けるところまでやっていた。

委員長： 館長が負担を感じていても各委員には伝わっていない。具体的に列挙していけば負担は軽減される。

島田： 各委員の意見を集約して来年に生かしてください。

委員長： 従来通りならともかく、新たな体制で遣ろうとするならもう少し早く始める必要がある。各役割の具体的な仕事内容まで決めて分担することが必要。

## 高砂のこと

藤田さんから説明があった。

ぜんざいの餅を湯煎して提供したことに對し不快の念を示され、館長と説明に行ったが来年については返事を保留する、と言われた。

それに対する館長の意見

来年の文化祭で高砂のぜんざいを提供するとして先方が焼け、というなら焼けばよい。別のもにに変更するならそうすればよい。それだけのことである。

委員長の意見

高砂以外の業者を利用することも考慮に入れてよい。いずれにせよ、早い目に動き出す必要がある。そういうことがあったということは共有しておく必要がある。

以上